



現場見学



見学前の設計概要を勉強



外観



熱中症対策による休憩所

当社にて設計監理業務を受託している佛教大学二条キャンパス2号館の現場見学を所員全員で行いました。現場事務所で設計担当者より、設計概要や周辺環境、工事進捗状況などの説明を聞いた後、現場を見学。構造躯体が立ち上がり、床スラブの施工が完了し、外装や内装といった工事が今後日々目まぐるしく工程で進んでいく様子を目の当たりにしました。

また、令和7年6月から建設現場では熱中症対策の強化が義務化されたことで、休憩所や水分摂取などの作業環境の管理を徹底しています。近年豪雨や猛暑といった異常気象もある中、竣工に向けて取り組む熱い現場を見学できました。

中村 友紀

所内研修・清掃



今年に入り3人の所員を迎えたこともあり、午前中は所内にて業務の進め方・提出書類等についての研修を行いました。

なぜ現在の業務の進め方となったか、当社で使用している用語・書類の基となったものも確認しました。1つ1つ行うことの意味や必要である理由を知ること各所員、日々の業務をより深く理解する機会となりました。

午後からは1階の整理整頓、外構植栽の剪定等を中心に行いました。清掃も日々の積み重ねです。今日だけににならないように気づきの視点を持って、継続して行きたいと思えます。

熱中症にも気を付けてながら剪定



熱中症にも気を付けてながら剪定

中村設計新聞

第百三十五号

六月二十一日 晴れ

新入所員歓迎会

今年4月から新たに仲間が加わり歓迎会を行いました。和やかな雰囲気の中、美味しい料理を頂き所員の会話も弾みました。

新たな所員と共に親睦を深め、日々の業務に取組みたいと思います。

岩田 信一



乾杯の様子



集合写真！

～竣工物件～

今年2月、京丹後市久美浜町に障害者グループホームが完成しました。(木造平屋 72.6㎡)

設計にあたり、どんな建物を作ろうか、どんな空間がいいのか、2年程建築主と定期的にディスカッションを行いました。1ユニット9床+シヨートステイ1床、2ユニット計20床の各ユニットはデイルーム・食堂を中心に計画しました。内装には木材を多用し、温かく安らぎのある空間です。屋根は寄棟の日本瓦葺で周辺の建物との調和を図りました。道路を介して敷地西側には以前当社が改修設計・監理を行った旧久美浜町役場「豆腐カフェモリ」のさんぽみちとの繋がりも生まれました。居住や労働の環境が利用者の自分らしく、の一助になることを願います。

岩田 信一



デイルーム



玄関

所員のつづやき

『1年が早く過ぎるのはなぜか』

年々、1年があつという間に過ぎていく。子どもの頃はあんなに長く感じていたのに。脳が時間を感じる仕組みは、『記憶の量』と深く関係しているそうです。新しい経験や刺激が多いと、脳はそれをひとつひとつ記録し、時間が長く感じられる。だから子どもの頃は毎日が始めての連続で1日1日が濃く、1年が長く感じたんですね。大人の方が忙しいうからだと思っていました。新しいことにも挑戦し、時間を大事に使い、人生を充実させたいものです。

長谷川 恵理

申村設計園芸

弊社取締役副社長榊田武典氏(勤続33年)は、5月26日に亡くなりました。皆様にはここに在職中賜りましたご厚誼に深く感謝し謹んでお知らせを申し上げます。

所員一同

梅雨に入りましたが、真夏のような日々が続いていました。長い間玄関を彩ってくれたパンジーを整理し、今回はナス、キュウリ、プチトマト、ピーマンの苗を買って植替えました。毛虫に注意しながらも菜園が出来上がりました。日々成長を眺めています。

茶谷 勝子



ピーマンとナスは早速花が咲きました

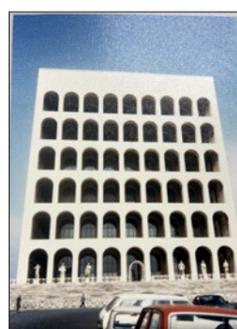


大きくなーれ！



中村設計園芸 夏野菜スタート！

EXPO2025 ワールド・トリビア



1986年7月に現地で撮影したものです。

「イタリア」

首都…ローマ 公用語…イタリア語 通貨…ユーロ 人口：約5899万

「コロッセオと四角いコロッセオ」

イタリアと言えば思い浮かぶもの、ピザ、パスタ、ピサの斜塔、コロッセオ・・・

コロッセオは、ローマの中心地、1900年経ってもイタリアを代表する観光地。4層に構成された楕円形劇場跡で、古代ギリシャから伝わる異なった装飾様式が施されている。一方、四角いコロッセオは、ローマ近郊のウル新都市にあり第二のコロッセオとも呼ばれている。構想の始まりは1942年ローマ万博でコロッセオをアレンジした四角いコロッセオとして使用予定であったが、第二次世界大戦が始まり中止。戦後イタリア文明館として外観だけが完成、シンプルなお外観で、現在はファッションブランドの本部になっています。

大阪関西万博イタリア館では、コロッセオ風正面外観も注目です。この機会に足を運んでみたいですね！

豊田 和弘

